

# 算数科学習指導案

## 単元名「九九をつくろう」

令和元年11月18日(月)第2校時 2年松組教室  
2年松組 指導者

### I 授業改善の視点

8の段の九九の構成の仕方を考える際、既習の段の乗法の性質やきまりを確認するとともに、個別の支援策カードを用いることは、8の段の九九の成り立ちを理解することに役立つだろう。

### II 本時の学習 8/17

<ねらい>

- 既習の法則を生かして、8の段の九九の求め方を図や式、言葉で表すことができる。

学習活動	指導上の留意点
<p><b>1 問題意識を持つ。(10分)</b>                      T: みんなはかけ算の九九、何の段まで習ったかな?                      S: 7の段まで。                      T: そうだったね。8の段って、あるのかね?                      S: あると思う。                      T: どうしてそう思ったの?                      S: 一つ分が8こあれば、今まで習った九九のようにかけられるから。                      T: なるほどね。じゃあ、みんなは一つ分が8のものって何か思い浮かぶかな?                      S: たこの足。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法の式にする上で大切なキーワードを使いながら計算のきまりを確認する。</li> <li>自分の考えを明確にもたせるために「どうしてそう考えたの?」と根拠をもたせる。</li> <li>一つ分が8こずつの物(まとまり)をイメージしやすくできるように、視覚的に捉えやすい教材の提示をする。</li> <li>問題解決意欲をもたせるために、児童からめあてとなる言葉を拾い、つなぎ合わせていく。</li> </ul>
<p><b>めあて</b> 8のだんは、どうやってつくるのかな。</p>	
<p><b>2 個別に課題を追及する。(5分)</b>                      T: 8の段はどうやってつくっていけばよいのかな。ワークシートに自分の考え方を書いてみよう。                      S: かける数が1ふえると答えが8ずつ増えていく。                      S: 1つ前の答えに8足せば次の答えが出ると思う。今まで習った九九と考え方が似ているなあ。</p> <p><b>3 追及したことを全体で比較・検討する。(23分)</b>                      T: どうやって考えたか、隣の人に説明しましょう。                      T: みんなの前で発表してくれる人はいますか。(意図的に指名後、発表者の考えを黒板に掲示して) ~さんの考えは、どういう意味か分かるかな。                      S: 「入れかえさくせん」をして答えを出していると思います。                      S: 8の段を5と3の2つの段に分けてから、2つの答えを合わせて、8の段の全部の数を出したのかなと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数コーナーを見て前時までの内容を確認する。</li> <li>解決の様子を把握し、必要に応じて、支援策カードを提示しながら個に応じた机間指導を行う。</li> <li>アレイ図を使っている児童には、線や丸で囲ませて、既習の九九がどこにあるのか、どんな数のまとまりに着目したのか考えさせる。</li> <li>自分の考えを友達に説明する機会を確保するために隣同士で話し合いの時間を設ける。それぞれのよさに気付かせる。</li> <li>「自分の考えをもち、それを相手に説明できる」視点から考えをワークシートに書かせるとともに配慮を要する児童の声かけを行う。</li> <li>同じ考え方をしている場合には、「賛成」「付け足し」のハンドサインを表すように促す。</li> </ul>
<p><b>【評価方法】(見取りの方法)</b> 乗法についての成り立つ性質やきまりを用いて8の段の九九を構成しようとしている。</p>	
<p><b>4 学習のまとめをする。(5分)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>まとめ</b> 8のだんは、かける数が1ふえるところたえは8ふえる。7のだんのように、ならった九九を入れかえてもこたえが出せる。</p> </div> <p>みんなで考えた方法で8の段を完成させよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童から出た意見をもとにまとめるようにする。</li> <li>まとめて取り上げた方法を使い、8の段の九九を完成できるようにする。</li> <li>学習への取り組み方のよさを認め、次時への意欲につなげる。</li> </ul>
<p><b>5 学習の振り返りをする。(2分)</b></p>	

### III 板書計画

<p><b>めあて</b> 8のだんは、どうやってつくるのかな。</p> <p>一つ分の数 × いくつつ分</p> <div style="text-align: center;">  ×    </div>	<p style="text-align: center;">みんなの考え方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>前にたしさくせん</p> <math>8 \times 1 = 8</math>  <math>8 \times 2 = 16 \dots 8 + 8</math>  <math>8 \times 3 = 24 \dots 16 + 8</math>                      :</div>
--	---